

## 最新鋭のごみ処理施設を見学



左より、Hitz 宮川所長、田中先生、川田所長

平成 16 年度第 1 回施設見学会は、6 月 11 日香川県の高松地区広域市町村圏振興事務組合南部広域クリーンセンターを対象に行った。岡山大学環境理工学部 田中 勝教授を座長に会員会社から 23 名が参加した。現地では南部広域クリーンセンター所長川田氏他の方々、施設を納入した日立造船株から四国支社部長星加氏、Hitz 高松運営事務所長宮川氏他の方々に施設の説明、案内、質疑応答などを担当していただいた。

台風の接近により大雨にみまわれたが、見



南部広域クリーンセンター川田所長より説明を受ける

学会は十分な広さを持ち、空調がいきとどいた快適な説明会場及び見学用回廊で行われた。

見学対象施設は 300 t / 日 (100 t / 24 h × 3 炉) の処理能力を持つ流動床式ガス化溶融炉と 35t / 日 (5 h) の破碎・選別系統を持つ廃棄物再生利用施設である。ガス化溶融施設は平成 16 年 3 月に竣工したもので、今後 15 年間にわたる管理運営業務を日立造船株が受託している。

見学終了後は、運転状況等について熱心な質疑応答が行われた。